

NEWS LETTER

「令和4年度 1型糖尿病患児家族の交流会」を開催しました！

令和4年10月1日土曜日、会津若松市北会津公民館で、1型糖尿病患児家族の交流会を開催しました。講師として竹田総合病院小児科 長澤克俊先生、アドバイザーとしてたんぽぽの会・齋藤栄子氏とボランティア2名を招き、患児2名、保護者5名の方にご参加いただきました。

長澤先生からは、患児の健康的で安心した生活のために知ってほしいことをテーマに御講話いただきました。参加者同士のお話では、自己管理ノートについて、これからの就職について、子の自己注射、治療の医療費・・・等、日頃の生活での悩みや疑問、情報を共有する有意義な機会となりました。



参加者の声

「直接病院の先生の話聞いて良かった」
「悩んでいることなどが聞いてよかった」
「病気について改めて勉強できました」など

今のカラダの状態をチェック。運動の大切さを実感しました。



送れていますか？健康生活

長澤先生の講話から

1型糖尿病は、自己注射や血糖測定で適切な血糖コントロールが大切ですが、それ以上に日常の健康的な生活習慣がとても重要です。

子ども時代の生活習慣は、大人になったときの健康、資質・能力や生活状況の観点で、影響を及ぼすことが分かっています。家族は、毎日同じような食事を摂り生活リズムで過ごすため、家族全体の生活習慣の質の向上が大切です。

子どもの成長には、信頼できる人から良い「しつけ」を受け、努力し、それを「褒めてもらう」ことが不可欠です。まずは大人が、自分の健康と子どものお手本となるために、家族の生活習慣を見直してみませんか？



良い睡眠で、からだもこころも健康に。

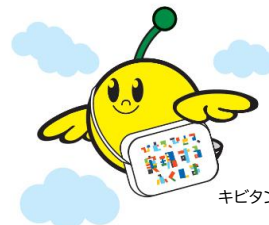


健康な食事をとりましょう！

見つけよう、栄養バランスのとれた食事のとり方。

【発行・お問い合わせ先】

福島県会津保健福祉事務所
児童家庭支援チーム
TEL 0242-29-5278
FAX 0242-29-5289



小児慢性特定疾病児童等自立支援事業広報紙 発行日:令和4年11月17日 発行元:児童家庭支援チーム
〒965-0807 福島県会津若松市城東町5番12号 TEL 0242-29-5278 FAX 0242-29-5289

「小児がんの子の健康を守る講演会」を開催しました！

令和4年11月12日土曜日、会津若松市生涯学習総合センター（會津稽古堂）で、小児がんの子の健康を守る講演会を会場とオンラインで開催しました。講師として、福島県立医科大学小児腫瘍内科の菊田敦先生をお招きし、患児2名、家族12名、保健師2名の方々にご参加いただきました。

菊田先生には、小児がん治療後の晩期合併症と継続的なフォローアップをテーマに御講演いただきました。治療後の合併症を完全に防ぐことは難しいが早期発見・早期治療のために包括的で継続的な支援・フォローが大切であること、幸福度を比較したときがん治療経験者は未経験者と同等かそれ以上であることなど、多くの患者の診療をされた経験等を交えたお話をいただきました。参加者の交流会では、子がかんと診断されてから現在に至るまでの苦悩や葛藤、今後の子の体調や就学などに対する不安等を心の中から打ち明け、共有できた意義のある会となりました。先生からの「それぞれ大変だと思うが一日一日を一緒に乗り越えて行きましょう」という言葉はご家族の心の支えとなるメッセージとなりました。



参加者の声（一部抜粋）

- ・実際の患者さんのことなど聞くことができてよかった
- ・小児がんのこと、将来のことを知ることができた
- ・他の方の話が聞けてつらいのは自分だけではないと励まされた
- ・それぞれが前を向いて頑張られている姿に励まされました
- ・保護者同士の交流の大切さを感じた

福島県内の患者会情報

がんになった患者さんやご家族が主体となって結成され、情報交換や交流会等を通じ、がん患者さんやそのご家族の不安の解消や悩みを分かち合う活動をしています。一部抜粋してご紹介します。

- ・がんの子どもを守る会 福島支部：TEL 024-547-1437
- ・雪うさぎ10西の会（造血幹細胞移植患者会）：TEL024-547-1600
- ・がんを考える会 ひいらぎの会：TEL 024-563-5665

その他の患者会、相談機関、医療費の情報等は「がん患者・家族のための福島県がんサポートブック」

(<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/498080.pdf>)をご覧ください。

生命保険について



予期せぬけがや病気に大切な保険。小児がん治療後、生命保険への加入が難しいことがあり、時に子の社会人としての自立や自己実現を妨げることがあります。小児がん経験者のための保険『ハートリンク共済』があります。詳しくは下記URLまたは福島医大附属病院 患者サポートセンターにお問合せください。

ハートリンク共済ホームページ：
<https://hartlink.net/>

◎小児・AYA世代のがんに関するご相談

福島県立医科大学附属病院 患者サポートセンターが窓口です。

お問合せの際は、小児がん、AYA世代のがん経験者に関する旨をお伝えください。

News Letter

小児慢性特定疾病児童等自立支援事業広報紙 令和5年3月発行
 福島県会津若松市城東町5番12号 TEL0242-29-5278



■「小児がん患児家族の交流会」を開催しました！

令和5年3月5日（日曜日）、会津保健福祉事務所で“小児がん患児家族の交流会”を開催しました。アドバイザーとして、認定NPO法人パンダハウスを育てる会及び福島県立医科大学附属病院患者サポートセンターで相談員を務める森千香子先生をお招きし、患児2名、家族8名の方々にご参加いただきました。お子さんの参加もあり、昨年11月以来でしたが成長を感じることができました。

森先生には、小児がんで闘病されているお子さんとそのご家族に対する社会的支援をテーマに御講話いただきました。先生の「小児がんを経験された子は、御家族から大きな愛情を受けて育っているためとても素直に育っているように思う。その反面、家族の苦勞を知っているからか家族に遠慮しがちな子もいる。親も子も思いを溜め込まず、少しずつ小出しにすることが大切。」という助言をいただき、子育てを行う上で大切となる親の姿勢を再認識することができました。講話でお話いただいた内容を抜粋してご紹介します。



講話の様子

○療養生活の支援の活用を

小児がんは成人のがんに比べて化学療法や放射線療法に対する効果が極めて高く、現在では約7割～8割が治るとされています。しかし、がんサバイバー（がんの診断を受けた後を生きていく人々）やそのご家族は、医療費や病院までの交通費等の経済的負担、就学や進学の高難しさなどで苦悩を抱えることは少なくありません。手当や制度、相談窓口を知らないだけで利用できる支援があるかもしれません。ご家族だけで抱え込まず、主治医や福島医大附属病院患者サポートセンターにご相談ください。

交流会の様子



患者会・家族会は、他のご家族の方の話聞くことでこれまでの経験や新たな知識を得ることができ、悩みや不安の軽減につながります。実体験された方の話なので、相談員からの助言よりもより耳に入りやすいこともあります。会への参加に抵抗を感じる方もいるかもしれませんが、どうぞお気軽にご利用ください。

参加者の声（一部抜粋）

- ・自分が知らない情報を知れてよかった。
- ・参考となるいろいろな資料をいただけてよかった。
- ・このような機会を持つことで交流を続けていければありがたいと思います。



◎小児・AYA世代のがんに関するご相談

福島県立医科大学附属病院 患者サポートセンター（TEL024-547-1026）が窓口です。お問合せの際は、小児がん・AYA世代のがん経験者に関する旨をお伝えください。